

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	西川 大輔		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 1		
講義室	1007	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F [探求力・課題解決力]問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うと主に、オープンエンドな問題・課題にこたえるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力]自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し適切に対応することができる。 DP4-I [理解力・分析力]文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（30%） I2 量的分析（20%） I3 情報分析（20%） J2 創造的思考（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は、演習により行います。なお、授業の一部を補完・代替するためにオンライン授業（ライブ型・オンデマンド型）を取り入れる場合があります。 ■キーワード 研究、省察、反省的実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り ■授業の目的 研究結果に関する他者との議論内容を踏まえて理解するために、学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行う。 ■授業のポイント 研究計画の実行に伴い、実際のスポーツ運動学に関する研究方法の汎用性や限界について実践を通して学びます。		
総合到達目標	■研究について、研究結果に基づく他者との議論を通じて、ゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討、発表ができる能力を修得する。 ・スポーツ運動学の研究についてその研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行し、さらに結果の考察までの過程を説明することができる。（第1回～第7回） ・他者との議論を重ね、自身およびグループでの具体的な発表方法を検討することができる。（第8回～第15回）		
成績評価方法	■リアクションペーパー（30%）適用ルーブリック G1 J2 （評価の観点）他者の発表や研究手法の情報に関する内容などの当該授業内容について授業終盤にリアクションペーパーの記載を行い記載内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内容の振り返りを行います。 ■プレゼンテーション（70%）適用ルーブリック F1 I2 I3 J2 （評価の観点）自身もしくはグループの研究実践結果を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。		
履修条件	ゼミナールⅠを履修していること		
履修上の注意点			
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。	

	③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
2	①授業テーマ 研究計画の再検討① ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画における課題の解決とそれに必要な修正について、議論を通して確認する。また、研究に必要な機器、機材を準備、確認しておく。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための現実的な課題について確認しておく。 ④復習（120分） 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。
3	①授業テーマ 研究計画の再検討② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画における課題の解決とそれに必要な修正について、議論を通して確認する。また、研究に必要な機器、機材を準備、確認しておく。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための現実的な課題について確認しておく。 ④復習（120分） 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。
4	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
5	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
6	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
7	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
8	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備① ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習（120分） 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
9	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備② ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習（120分） 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
10	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備③ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習（120分） 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
11	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備④ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習（120分） 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
12	①授業テーマ 研究成果の発表① ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。また、発表に対し、グループ間で議論する。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
13	①授業テーマ 研究成果の発表② ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。また、発表に対し、グループ間で議論する。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
14	①授業テーマ 研究成果の発表③ ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。また、発表に対し、グループ間で議論する。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
15	①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業研究、卒業論文に向けて必要な情報を整理する。 ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） 卒業研究、卒業論文に向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習
教科書	
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知する。 ■オフィスアワー 月曜 5 限 それ以外の時間については出来る限り研究室で対応する。
研究比率	

